

# 新幹線プレス

2012年10月9日 No.78

発行者 成田隆浩

編集者 教宣部

JR東海労新幹線地本

## “出向先会社の労働条件改善”を申し入れ!

新幹線地本はSMTおよびSEKに出向している組合員の労働条件改善について、JR東海会社に対して申し入れを行いました。しかし会社は、「当社は回答する立場にない」とし、無理やり出向させた社員に対して何ら責任を持たないことを明らかにしました。

そこで新幹線地本は本日10月9日、組合員がお世話になっている出向会社に対して、“労働条件の改善等についての団体交渉”の申し入れを行いました。しかし、両社とも会社代表としての窓口において「答えるつもりはない」「団体交渉の申し入れは受けない」という対応をしてきました。法律に基づく「団体交渉」の申し入れに対して、ここまであからさまに拒絶反応を示されたことに私たちは驚きとともに、労働者の権利がここまでないがしろにされている現実にも愕然としました。しかし、組合員の労働条件改善を求めることが労働組合の労働組合たる由縁であります。

新幹線地本はSMTに対して“申し入れ”書面を郵送しました。

## 郵送した“団体交渉申し入れ”に対して誠意ある回答を!

(SMTに郵送した“申し入れ”の要旨は以下の通りです)

「団体交渉」開催の申し入れについて

御社には、現在も私たちJR東海労組合員が出向中であり、いろいろお世話になっております。これまでも少なからぬ組合員がお世話になってきました。さて、この出向中の組合員の労働条件改善のために、労働組合法の趣旨に基づき以下について御社と直接協議をたく、「団体交渉」の開催を申し入れるものです。誠意のあるご回答をお願いします。

記

大井基地においては

1. 各事業所とも年休取得に必要な要員の確保を。
2. 毎月10日発表の休日指定は、今年7月までのように全て出すように。
3. 大井車両基地内の作業本数の平準化を。・・・など

東京ターミナル事業所においては

1. 遅出勤務者は現在3名ですが、4名体制に。
2. ターミナル事業所の男性要員は、以前のように27名体制に。
3. ○○社員については健康・体調管理上のことから、坦務変更を。・・・など

私たち JR 東海労新幹線地本は労働条件改善の取り組みを続けていきます。